

## 平成 30 年度 出前懇談会 会議録

地 区	西有田 地 区	市長・副市長の出席	市長
日 時	平成 30 年 8 月 20 日 (月) 19:00~21:10	場 所	西有田公民館
地 区 参加者	長尾地区理事 (上手町) 中島有田町自治会長 宮崎三池町自治会長 藤原あやめ台自治会長 松本中尾町自治会長 中島三ノ宮二丁目自治会長 吉長坂井町自治会長	計 19 名	
担 当 グ ル ー プ	リーダー	高瀬福祉保健部長	副リーダー 江田環境課長
	プレゼン テーター	梶原文化財保護課長	連絡調整担当 遠坂大鶴振興センター長
	書 記	仲学校教育課長	
	構成員	財津都市整備課長・河野契約検査室長・相垣すぎっ子こども園長	
	その他		
議 題	テ ー マ		説 明 者
	1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～		梶原文化財保護課長
	2. 「土砂災害警戒区域」とは、		梶原文化財保護課長

1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～
2. 「土砂災害警戒区域」とは、

(意見)

- ・ ウッド平島公園の下から有田小学校の所に集水マスがあるが、側溝が浅くて水がはけきれない。  
分散できれば分散してもらいたい。それをしないと、冠水して道路を渡れない。小学校の体育館が避難場所になっても行くことができない。

(回答)

- ・ 企業立地と土木の職員から一度自治会長さんのところに電話をして、時間と日にちを決めて一度立ち合いをさせていただく。

(意見)

- ・上小寒水公民館が避難場所だが、川すれすれに公民館があるので、避難に困っている。有田小学校にも避難することができなかった。だから自宅にいるように言った。

(回答)

- ・防災危機管理室が、自主避難場所や指定避難所の見直しをしている。今、自治会長さんからいただいたことをお伝えする。

(意見)

- ・中尾町から支援学校に行く橋も風倒木等で引っかかって渡れない。中尾町から有田町も行けない。中尾町の人が避難する場所が実際ない。

(回答)

- ・避難場所を指定しているから行かなきゃいけないという話ではないが、市としては、安否確認を確実にしたい。

(質問)

- ・防災無線、スピーカーは、分散しているのか。同時に流すのか。この前ずれて流れたような感じだったが、どうしているのか。

(回答)

- ・その電柱の距離にもよるが、図面上で音の響く範囲を調べて、微妙に何秒か後にずらして流すところがある。

(回答)

- ・水郷エリアには、告知端末があり家の中で聞けるようになっている。今月中に結果が出るが、各戸に1つラジオを置いて、そこから情報が取れないか実験している。電波が衛星から来ているので、停電しても聞こえる。電波が入れば全戸につくことになろうと思っている。予算的なことがあり、新年度に向けてどうやって予算繰りしていくか考えていく。防災無線をつけても、風向きや雨の音で聞こえないことがある。現在検討しており、できれば予算繰りしてやりたいと思っているので、要望を出していただければと思っている。

- ・また、聴き取れなくても、一部の方に限られるが、文字で出るようなものもあるので、そういったものを駆使しながら、皆さんに情報を届けたい。この地域は、こういう状況ですというのを本庁に送れる。できれば、自治会長さん達にお願いしたい。こちらの状況は「こういう風です。」という情報が8秒後に、本庁に入ってくるので、それを見ながら我々も対応したいという風に思っている。ご意見あればいただきたい。

(質問)

- ・先ほど大鶴地区の自治会長の話にあった、各家庭に通知する放送システムというものか。

(回答)

- ・そうです。
- ・水郷テレビエリアは家の中にスピーカーみたいなものを各戸に置いている。自治会長が放送を流せば各戸に入るようになっている。
- ・去年の時では、小野地区は、3日間、電気も携帯も無線もつながらなくて、完全に孤立した。安否確認は、市の職員が入って一軒一軒回って、最終的に3日間かかって確認がとれた。今後、先ほどのシステムを導入できればと思っている。

(質問)

- ・消火栓の近くに消火ホースをセットしておけば住民で訓練して初期消火ができる。有田地区は、消防の分団の倉庫が近くにあるから、消火栓の近くにホースをセットできないと聞いた。

(回答)

- ・消火栓に消火ホースをつながないことには消火ができないので、消火ホースを入れてる格納ボックスを設置するときは、自治会の事業として市は補助金を出している。消防の分団倉庫が近くにあるから出せないとかいうことはないと思う。

(質問)

- ・有田川に消防道路(水路)というのがあるが、火災時に、消防車が来ても水があげられなかった。そういう整備もしなければならないが。

(回答)

- ・消防水路の整備も、市の補助金制度にある。自治会で検討して欲しい。

(意見)

- ・今、消防整備の話が出たが、振興協議会で有田川から水をとるという要望書を県に提出したが、県も予算がないということで、いま保留の状態である。場所は、有田の初午神社の下の橋。その河川敷に穴を掘っているみたいだが、土砂がたまってしまってなかなかできないということ。
- ・また、西有田地区は大きな企業が何社か来ており、それぞれ調整池等がある。調整池等に砂が入って、整備ができていないのではないか。
- ・石松川に(さい川)という川が流れているが、5年前と昨年、水が出てしまって県道が通行止めになった。その原因は上の方にゴルフ場があり、調整池がある。それかと思う。
- ・もう一つの原因は県道が、水路より県道の下マンホールというか土管が小さいためオーバーフローすると水がたまる。ここ5年、3回ほど石松町の妻の実家の前が浸かっている。だから、この3年間の豪雨というのがあるのかもしれないが、調整池等の土砂の確認を市か、県か、どちらかわからないが確認と管理をお願いしたい。

(回答)

- ・確認をする。
- ・雨が多すぎる。下水も、64.何ミリまでいける様になっているが、それでもオーバーフローする。下水の管路全部を作り直すことは出来ないから、中が通っているかどうか、確認することが必要であろう。観光祭前に土砂をあげたりするけど、多すぎて毎年は難しい。

(意見)

- ・うちも業者に来てもらって掃除をしたら、それによってある程度は、改善した。

(意見)

- ・ごみが詰まったらんか1年に1回水路のそうじをするが、見えないところがある。グレーチングで中が見えるようにしてもらえれば良い。刈った草を流すものだから詰まっている。

(意見)

- ・上手のあたりは、どんどん家が建ち、雨が降った場合、水路がオーバーフローしてしまう。昔は田んぼだったからある程度オーバーフローしても全体的にじわっと流れていく、今は一遍に出てしまう。例えば水路を大きくするとか今の30センチを例えば、倍ぐらいにするとかできないか。

土地改良区だけの問題ではない。

(回答)

- ・下を掘るか、広くするという話が出たけれども、追いつかない。庄手川に入っていくところから深堀して、雨水が出ていくような方法しか今のところない。
- ・また、花月バイパスが出来たがゆえに、渡里川の方に水がいなくなった。地域内に全部水がたまるようになって、それがいま大問題になっている。国交省が河川を広げるときに、少なくとも早く出るような排水ポンプ場を作ってくれとかいう話をしている。

(意見)

- ・私の家は高速道路のすぐ近くだが、水路から溢れ出る。

(回答)

- ・住宅に関する部分については、市で3,000平方メートル超の開発になると県の開発行為となる。1,000平方メートルを超える分は開発協議ということで市に出すことになっている。水路の断面が十分であるかというチェックはしているが、それを何千メートルも確認してOKじゃないと流させないということにはなかなか出来ない。市の水路、放流先の水路、一時放流先というが、そこでの断面が確保できていれば許可せざるを得ないというのが実状である。
- ・ある程度広い開発になると調整池を作るなどの指導になっていくが、なかなか今の状態で、どこまでを開発者に負担していただくのか、エリアの流末から排水する場所が花月川なのかが問題で、花月川に出すところがないので、排水ポンプで排水をさせない限り無理。どこにも出て行き場がないので、ハイウォーターになる前に排水させるものを出していく施策を進めなければならない。

(意見)

- ・花月川は管理する人が大変だと思う。だれもやり手がない。管理する人はプレッシャーがかかる。

(回答)

- ・結局、水は下から整備していかなければどうにもならない。花月川に直接出せる方法を考えてくれないと出来ないということは報告している。今回、河川確保すると言っているので、本当にやって欲しいと伝えている。

(意見)

- ・水害が、今後もずっと続いていく可能性がある。町内の各班に防災委員がおり、防災委員と班長と防災士が話をしてくれている。水害の時と地震の時、簡単な初歩的なマニュアルを作り、全家庭に配った。また、25年からこれまで、毎年6月の市の防災訓練のサイレンに合わせて訓練をしている。今回も158名、防災講話も100人近い人が聞いた。やっぱり皆さん関心があり、危機感があるんだなと私は感じている。訓練を通して皆さんが行動することを覚えていって、「自分の命は自分で守ってもらう。」ということ体を動かして覚えるのがいい。
- ・夕田側が土砂災害警戒区域になった時がちょっと怖い。そのエリアには早めの避難をするようにしている。

(回答)

- ・土砂災害警戒区域にはイエローとレッドがある。どちらも目視でやっているところがほとんど。イエローの部分は、思うほど危険ではないが、それが狂ったのが今年の耶馬溪である。フィールドワークをしていただきたいというのは、どこから水が来ているとか、そういうのを各自治会単位で危険箇所、もしくは前兆を感じている場所があるというのを訓練を兼ねて情報を集めていただきたい。

(意見)

- ・関連するが、三池有田線の高速道路がクロスしているところの北側に、ちょっと雨が降ると池になり、排水がうまくいかない。なぜ、池になるかということ、高速道路の水があそこに集結して、求来里川に流し込むようになっているというのが一つ。もう一点は池辺原（台地）の排水路がちゃんとなっていない。
- ・野菜畑が多く、大雨で土砂崩れというのがちょくちょく起こっている。一番極端な例では、去年の7月5日の時、三池有田線の側溝と道路が土砂で埋まり、町内に総動員をかけて、市役所から土嚢袋をもらってきてみんなで土嚢袋を作ってもらい、市に後片付けをお願いした。作った土嚢袋は1,000袋。今年の7月もかなり埋まった。土木課のほうで部分的に側溝に蓋を作ってもらって、だいぶ解消できたが、やはり上から落ちてくる高速道路の排水と池辺川から流れてくる排水が、土砂と一緒に流れてくる。この三池有田線はおそらく近いうちに土砂崩れが起こって通れな

くなるのではないかと思う。山に入ってみると、あちこちが小規模な土砂崩れがいっぱい起きている。だから、それが道路に近いところはかなり迫ってきている。恐らく近いうちに道路がふさがるようなことが起こるのではないかなと思っている。なにか方法はないかなと思う。今の件は、池になった状態の写真など、全部土木課さんの方と道路公団のほうに全部届けてある。対応を宜しくお願ひしたい。

(回答)

- ・土木課長に伝える。

(質問)

- ・あやめ台の防災無線は、雨が降った時など聞きづらい状態。防災無線というのは、例えば要求書を出したら設備をしてもらえるのか。また、災害の警戒はしているが、お年寄りにホームページを見てとか、フェイスブックを見てとかいう風に言っても、なかなかできない。「もういいや。」となる。防災無線が鳴る小型の、公民館にラジオのような、防災無線と同じのが聞こえてくるのがあったが、市の設備として自治会にあるのか。
- ・また、先月の30日に自治会で一斉清掃で草刈りをしていたら、道路の下の方が5メートルくらい地滑りのように、道路のほうにずれてる場所が2か所あった。雨降りとかで暫定的にブルーシートをかけて流出を防いでるというところがあるが、市役所に申請すればブルーシートの対応ができるのか。

(回答)

- ・整備は可能である。道路については、土木課のほうに連絡をし、伺わせる。

(意見)

- ・将来的には公民館も年数もたっておりますので、地域の公民館の建て替え等も出てくると思う。市に協力をお願いしたい。

(回答)

- ・地域のコンセンサスを取ってもらうと良い。

(質問)

- ・北部中学校は、避難場所にはなっているが、水害時はなっていないのか。

(回答)

- ・地震の時は避難所になるが、水害の場合は、避難所にはならない。

(意見)

- ・昨年、坂井町は三和にも有田にも行けない状況になった。

(意見)

- ・坂井町の公民館は、高台の危険箇所地域に指定されたところにあつたので、建て替えを10年計画で進めていたが、安全確保のために、5年ではあるが、市の助成をいただいて12月に完成することとなった。完成を待っているところである。

(回答)

- ・防災倉庫とかりヤカーとかにも市の補助が出る。申し込んでいただきたい。

「その他の事項：山田原の養豚場からの悪臭について」

(質問)

- ・山田原からの臭いの状況と対策についてどうなっているのか。風向きや天気によって、臭いがひどい。解決の見通しはあるのか。

(回答)

- ・2軒の養豚場が原因である。市は、県の家畜担当部門と一緒に行って、消臭剤をまいたりするなどの手立てをとっているが、まだ結果が出ない。
- ・昔からの糞尿がたまっていたりするので、家畜保健衛生所も11項目くらいにわたって、改善すべきことを指導している。期限を示しても予定通りに進んでいないというのが実態である。今後引き続き早急に解決するよう取り組んでいく。